森で働く人と経済の仕組み



対象	中学生・高校生
目安時間	２～３コマ　＋　授業外調査

森から製品になるまでに関わる仕事を「経済のしくみ」として捉え直し、林業従事者の減少・高齢化、担い手不足といった社会課題まで視野を広げます。本教材は「なぜその仕事が成り立ちにくくなっているのか」を、問いを立てて調べ、考察する探究学習として設計しています。

進め方

- 導入（10分）：林業従事者数の推移データなどを提示し、「なぜ減っているのか」という問題提起を行う
- STEP1～2（15分）：生徒それぞれが問いと仮説を立てる
- STEP3（授業外・1～2週間）：統計データ、新聞記事、可能であればインタビューなどから情報を集める
- STEP4（15分）：集めた情報をもとに考察をまとめる
- STEP5（1コマ）：提言をまとめ、発表・共有する

評価観点（案）

問いの質　　：自分なりの視点で、調べる価値のある問いを立てられているか

情報源の妥当性：複数の情報源を使い、出典を明記できているか

考察の深さ　　：仮説と調査結果を照らし合わせ、根拠をもとに考えられているか

提言の具体性：自分の意見が、調べた内容に基づいた具体的な提案になっているか

声かけ例

- 「その情報は、誰が発表しているデータかな？」
- 「仮説と違う結果が出たとき、それも大事な発見だよ」

発展・アレンジのヒント

地域の森林組合・製材所・工務店へのインタビュー調査に発展できます

林野庁や長野県の統計データを使った定量分析（グラフ作成）に発展できます

「もし自分が林業従事者を増やす政策を考えるなら」という提言レポートにアレンジできます

留意点

統計データの引用は出典を明記し、一次情報（公的機関の発表）を優先するよう指導してください。

関連する「森の仲間と学ぶFSC講座」

調査の一次情報源として、以下の講座記事も活用できます。

第1回　FSC認証とは？
https://shitte-erabo.net/fscproducts/study/8624/

第6回　FSC認証と「働く人の権利や安全」
https://shitte-erabo.net/fscproducts/study/11215/

FSC認証は、森林で働く人々の労働条件や地域社会への配慮も基準に含みます。認証の仕組みが、担い手不足という構造的な課題にどう関わりうるかを考察する材料になります。

※本プログラムは個人・教育目的での複製・印刷利用ができます。改変・商用利用はご遠慮ください。

探求学習ワークシート
「森のしごと」シリーズ

森で働く人と経済の仕組み



森ではたらく人は、なぜ減っているのだろう？　問いを立てて、調べて、自分の意見をまとめてみよう

STEP1　問いを立てよう

森ではたらく仕事について、自分が「調べてみたい」と思う問いを立てよう。（例を参考にしてもOK）

- なぜ日本の林業の担い手は減っているのか？
- 森ではたらく仕事は、なぜ「きつい・きたない・危険」というイメージを持たれやすいのか？
- 林業の仕事を増やすために、どんな取り組みが行われているのか？

私の問い：

STEP2　仮説を立てよう

その問いに対して、今の自分はどう予想する？　理由もあわせて書いてみよう。

STEP3　調べよう

統計データ・新聞記事・インタビューなど、複数の情報源から調べてみよう。

情報源の種類		名前・出典（URLなど）	わかったこと

STEP4　考察しよう

調べたことをもとに、仮説は正しかったか、新たにわかったことは何かを整理してみよう。

STEP5　提言をまとめよう

「担い手を増やすには何が必要か」について、調べたことを根拠にしながら、自分の意見をまとめてみよう。

※本プログラムは個人・教育目的での複製・印刷利用ができます。改変・商用利用はご遠慮ください。